



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月1日

上場会社名 リリカラ株式会社 上場取引所 東
コード番号 9827 URL <http://www.lilycolor.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 俊之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員総務本部担当 (氏名) 佐藤 伸男 (TEL) 03-3366-7845
四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	25,858	4.5	△172	-	△243	-	△203	-
24年12月期第3四半期	24,738	1.0	△406	-	△467	-	△513	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	△16.53	-
24年12月期第3四半期	△41.71	-

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	19,946		5,549		27.8	
24年12月期	19,734		5,730		29.0	

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 5,549百万円 24年12月期 5,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
25年12月期	-	0.00	-	-	-
25年12月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,300	7.5	350	-	220	-	150	-	12.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年12月期3Q	12,662,100株	24年12月期	12,662,100株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	358,657株	24年12月期	357,418株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年12月期3Q	12,304,172株	24年12月期3Q	12,305,275株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件等については、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策に対する期待感から円安・株高基調に推移しており、一部の輸出産業を中心に業績が改善する動きが見られるものの、その他の産業界における回復基調への足取りは明確さに欠け、欧州景気の停滞や新興国経済の減速等も加わり先行き不透明な状況となっております。

インテリア業界におきましては、重要な指標である新設住宅着工戸数は昨年の秋口以降、連続して前年を上回って推移しております。

このような環境のもとで、当社の売上高は前年同期比4.5%増の25,858百万円、売上総利益は前年同期比2.9%増の6,239百万円、営業損失は172百万円(前年同期は営業損失406百万円)、経常損失は243百万円(前年同期は経常損失467百万円)、四半期純損失は203百万円(前年同期は四半期純損失513百万円)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

① インテリア事業

壁装材は、2月に装飾性を追求したハイグレードな素材とデザインを取り揃えた見本帳“ウォールデコ”を発行、3月に新築はもちろん、リフォームにもきれいに貼れるビニル壁紙100点を厳選した見本帳“らくらくリフォーム”を発行、5月に新築にもリフォームにも、住宅にも非住宅にもこの1冊で対応可能な、あらゆるニーズをカバーする見本帳“ライト”を発行。カーテンは、7月に緻密に織り上げられたデザインと素材感が、さまざまなジャンルでワンランク上のこだわりを演出する見本帳“ファブリックデコ”を発行。床材は、1月に住宅の水廻りをはじめ、さまざまなスペースにお使いいただけ、衝撃吸収性に優れた「3.3mm厚」は福祉介護リフォームにもおすすめできる見本帳“クッションフロア”を発行、2月に主に店舗や商業施設にお使いいただけ、耐久性・耐摩擦性に優れた複層ビニル床タイル見本帳“エルワイトイル”を発行した他、壁装材見本帳“V-ウォール”、“ウィル”、カーテン見本帳“サーラ”等を増冊発行し拡販に努め、売上高は前年同期比5.2%増の21,569百万円となり、セグメント損失は208百万円(前年同期はセグメント損失444百万円)となりました。

② オフィス事業

顧客企業のリニューアル、移転等に対する投資意欲が盛り上りを見せないなか、顧客企業に対するより細やかなサービスの提供に努めた結果、売上高は前年同期比1.2%増の4,288百万円となり、セグメント利益は前年同期比5.0%減の35百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は前事業年度末比212百万円増の19,946百万円となりました。

流動資産は前事業年度末比180百万円増の14,404百万円となりました。これは主に商品の増加(609百万円)、受取手形及び売掛金の増加(509百万円)、前払見本帳費「その他」の増加(310百万円)、現金及び預金の減少(1,275百万円)によるものであります。固定資産は前事業年度末比31百万円増の5,542百万円となりました。

負債総額は前事業年度末比393百万円増の14,397百万円となりました。流動負債は前事業年度末比494百万円増の12,428百万円となりました。これは主に短期借入金の増加(540百万円)、固定資産購入等支払手形「その他」の増加(411百万円)、1年内返済予定の長期借入金の減少(249百万円)、未払金「その他」の減少(163百万円)、支払手形及び買掛金の減少(99百万円)によるものであります。固

定負債は前事業年度末比101百万円減の1,968百万円となりました。これはリース債務「その他」の増加(138百万円)等の増加要因はありましたが、主に社債の減少(120百万円)、長期借入金の減少(115百万円)によるものであります。

純資産は前事業年度末比181百万円減の5,549百万円となりました。なお、自己資本比率は27.8%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の業績予想に関しては、平成25年2月15日に開示いたしました「平成24年12月期決算短信(非連結)」からの変更は行っておりません。

なお、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要性が生じた場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、この変更による、当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,601,910	3,326,853
受取手形及び売掛金	6,194,160	6,703,787
商品	2,092,693	2,702,119
その他	1,345,522	1,685,240
貸倒引当金	△10,633	△13,883
流動資産合計	14,223,655	14,404,117
固定資産		
有形固定資産	1,622,726	1,756,209
無形固定資産	185,712	246,509
投資その他の資産		
差入保証金	2,004,482	1,933,266
その他	1,778,173	1,693,657
貸倒引当金	△80,290	△87,067
投資その他の資産合計	3,702,364	3,539,856
固定資産合計	5,510,803	5,542,575
資産合計	19,734,458	19,946,693
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,628,902	9,529,130
短期借入金	447,800	988,000
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	652,404	403,054
未払法人税等	70,989	48,710
賞与引当金	73,942	126,176
その他	860,245	1,133,904
流動負債合計	11,934,284	12,428,976
固定負債		
社債	650,000	530,000
長期借入金	695,338	580,100
退職給付引当金	395,255	384,321
資産除去債務	54,880	56,841
その他	274,032	417,199
固定負債合計	2,069,507	1,968,462
負債合計	14,003,791	14,397,438

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,335,500	3,335,500
資本剰余金	2,772,764	2,362,793
利益剰余金	△409,971	△203,342
自己株式	△59,143	△59,283
株主資本合計	5,639,149	5,435,667
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	91,517	113,587
評価・換算差額等合計	91,517	113,587
純資産合計	5,730,667	5,549,254
負債純資産合計	19,734,458	19,946,693

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	24,738,474	25,858,949
売上原価	18,672,750	19,619,042
売上総利益	6,065,723	6,239,907
販売費及び一般管理費	6,471,986	6,412,559
営業損失(△)	△406,262	△172,651
営業外収益		
受取利息	5,086	4,679
受取配当金	4,729	5,770
不動産賃貸料	32,533	30,621
その他	21,687	15,063
営業外収益合計	64,037	56,135
営業外費用		
支払利息	40,219	42,862
手形売却損	42,619	43,056
不動産賃貸費用	28,406	28,498
その他	14,124	12,818
営業外費用合計	125,369	127,234
経常損失(△)	△467,594	△243,751
特別利益		
投資有価証券売却益	—	81,306
特別利益合計	—	81,306
特別損失		
投資有価証券評価損	7,835	—
特別損失合計	7,835	—
税引前四半期純損失(△)	△475,429	△162,444
法人税、住民税及び事業税	37,799	40,898
四半期純損失(△)	△513,229	△203,342

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成25年3月28日開催の定時株主総会における決議に基づき、資本準備金を255,067千円取り崩し、その他資本剰余金に振り替えいたしました。また、その他資本剰余金409,971千円、利益準備金188,000千円及び別途積立金495,000千円により、繰越利益剰余金の欠損填補を行なっております。

この結果、資本剰余金が409,971千円減少し、利益剰余金が同額増加しております。